

会議録

会議の名称	三芳町立三芳小学校 第4回学校運営協議会	
開催場所・日時	令和8年3月3日(火) 三芳小学校 会議室 (開会) 11:00 (閉会)12:30	
出席者人数	9名	
議題	(1)後期「学校並びに家庭生活に関する調査」結果報告 (2)令和8年度学校経営方針について (3)その他	
協議等 要旨	協議結果	意見の概要
	(1)承認 ・後期「学校並びに家庭生活に関する調査」結果及び学校関係者評価集計結果について共有し、三芳小学校の課題について話し合った。	裏面参照
	(2)承認 ・めざす学校像や重点目標を共有し、令和8年度の学校経営について話し合った。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会で出た意見を教職員に浸透させるには地道に会議などを行う必要があるのではないか。懇談会の方針についても、もっと話し合う時間が要ると思う。 ・会議の課題を予め周知しておき、各教職員に意見をまとめておいて貰う方式はどうか。 ・あいさつ運動について、保護者の参加を募るのはどうか。 ・あいさつについては、子供の発達段階を考慮する必要もある。交流の仕方を考えるのも良い。 ・おたよりに学年帽子の色を載せていただきたい。 →下校時刻一覧表に掲載の予定。
	(3)その他 ・来年度の学校運営協議会委員について	・特になし
配布資料	(1)後期「学校並びに家庭生活に関する調査」結果報告資料 (2)令和7年度 学校関係者評価 集計資料 (3)スライド資料 (4)こみすく通信 まなびあい 第3号	

協議1 後期「学校並びに家庭生活に関する調査」結果報告 意見の概要

【学校運営協議会についての意見】

- ・現在の三芳町におけるコミュニティ・スクールの仕組みには改善の余地があるが、土地柄等難しい問題もある。コミュニティ・スクールの形が直接関わりのない人には浸透していないように感じる。知ってもらうことが大事。教育委員会と連携しながら動いていく必要がある。
- ・学校運営協議会委員として、もっとたくさんの教員と話し合う場が欲しい。協議会の活動が保護者どころか教員にも伝わっていないと感じる。更に、お便りなどで地域にも伝えたい。

【学校についての意見】

- ・あいさつに課題がある。児童からも教員からも中々返ってこないことがある。つながりが希薄になり、PTAを知らないことに原因があるのでは。顔写真を廊下に掲示するなどの対応をしたい。できれば教員の写真も貼っていただきたい。
- ・保育園と小学校では職員と保護者の距離感が随分違う。小学校に入ると急に距離が開くので戸惑う人もいると思う。教員の写真を学内に掲示するのは良いアイデア。
- ・現代では自治会に入っていない親が多く、お互いのことが分からないし協力もできない。情報も届かない。学校も同じような部分があり、教員のこと分からないと、子供と一緒にいても教員なのか不審者なのか判断が付かない。教員と分かる目印をつけてほしい。
 - 教員の見える化については、PTAから何か目印を作って寄付するなどの活動ができるのではないか。
 - PTA自体もっと存在をアピールした方が良い。
- ・学校から保護者への連絡ツールは発信のみが良い。返事ができるシステムでは運用に支障が出る。相談事は懇談会等、直接顔を合わせた際に話ができる時間があると良い。
- ・懇談会の出席率が低いから減らそうという方向性ではなく、どうしたら来てもらえるかという視点を持つべき。
 - 懇談会に参加しなければできないような体験を取り入れるのが良いのでは。
 - 教員が個々でそういった取り組みをする場合があるが、現在組織としては対応できていない。課題として取り組んでいく。
- ・学校は保護者が「いつ見に来ても良い場所」のはず。知らない保護者が多いのでは。
- ・学校に行き辛くなっている児童に対しては、様々な手段を考えてほしい。教員も大変だと思うが、保護者はもっと大変だと感じている。
- ・子供たちへの配慮(公園の譲り合いなど)のために学校の休業日を知りたい場合があるが、公開されていないため分からない。自治会で学校だよりが配られるタイミングでは遅い。細かい予定までは要らないので、大まかなものをウェブサイトなどで公開してほしい。
- ・学校、地域、保護者のコミュニケーションは難しい。子供たちのために、いかにうまくやるか。学校全体として意識してもらえないと思う。将来的には地域での見守りにもつなげていきたい。

【社会的支援についての意見】

- ・発達障害について、最近本当に増えていると感じる。でもそういう子供が社会に入っていけないことはないし、その子ならではの強みを持っている。また、子供の頃だけの問題ではなく、大人になってから特性が分かる人もいる。課題はそういった特性を理解する場が無いこと。世間的にも言いづらさがある。相談できて、本人や家族が安心できる場があると良い。
- ・三芳町は高齢者に対する支援は手厚いが、子供に対してのものは少ない。保護者が相談できる場が少ない。
- ・保育園では子供の1日の生活を見ている。個別対応が必要な場合は保護者を呼んで面談する。子供の年次検診などでは、普段の生活を知っていないと見逃しそうな部分について、保育園があらかじめ連絡対応する場がある。
- ・ふじみ野市は学校統合で使わなくなった校舎を特別支援学校にする予定になっている。富士見市には特別支援学校が既にあり。三芳町にはない。子供が住みやすい、居心地の良い場所を作ってあげられると良い。
- ・三芳町は生活保護家庭も多い印象。
 - そういったところに対する福祉制度はもう少し手厚くしないといけない。実際に実行してみたら伝えると町も考慮してくれたりする。全部は無理かもしれないが、町は動かないわけではない。実績を作ったうえで要望することが大事。

【自治会についての意見】

- ・学校から地域への連絡は自治会を通して行われるが、お便りの回覧なども自治会に入っていない人には届かない。情報発信については別の方法を考える必要がある。
- ・自治会に入ってほしいと言っても、別のところから来た人などはルールの違いがあり、戸惑うことが多い。分かりやすくする必要はある。
- ・あつまり、イベントなど、まず参加してもらいたい。食事を出す等の対応を取ると参加者が増えるが、それでも良いと思っている。
- ・おまつりなどは、子供たちの関わり場の場になり得る。つながりを深めていかないといけない。
- ・イベントやおまつりは好きだけれど、参加するまでにやらなければならない役割などがあると躊躇する人が多い。会費が負担になる人もいる。
- ・自治会の高齢化が気になる。